



- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・がんばる子



「全力投球(ぜんりょくとうきゅう)」



メダルラッシュに日本列島が興奮した「リオオリンピック」。金12個・銀8個・銅21個の計41個のメダル。史上初のカヌーの銅メダル、96年ぶりのテニスの銅メダル、体操男子団体や個人総合：内村航平選手の金メダル、女子バドミントンダブルス：高橋礼華選手・松友美佐紀選手ペアの金メダル、女子レスリング、五輪史上初の4連覇など、多くの感動をいただきました。バドミントンは16対19(21点)からの大逆転、内村選手は最後の鉄棒の演技での大逆転と、最後まであきらめないで攻め続ける姿がありました。

8月29日(月)の全校集会「校長講話」では、前期後半から後期にかけての「合言葉」である「全力投球」について考えるために、オリンピックで活躍した選手について話をしました。



子どもたちの感想(〇:学年)



たっきゅうのあいちゃんがすきです。あいちゃんはいしょまけていたのに、ぎゃくてんしてすごかったです。てつぼうで10かいやりたいです。①

ぼくは、うちむらこうへいせんしゅみたい、きんめだるがとりたいです。ぼくもてつぼうでがんばります。ぼくもおりんぴっくにでてみたいです。①

ぼくはりれいせんしゅみたくなりたいです。はしることをがんばって、いっとうしょうになりたいです。しゅくだいもがんばります。①

ぼくは、さいしょにできなくてもあきらめずにやればできる、ということがこうちょうせんせいのお話でわかりました。ぼくもぜんりょくとうきゅうでがんばります。とうきゅうオリンピックでは、ことしメダルをとれなかった人もメダルをとってほしいです。②

たくさんど力すればできるということがわかりました。ひとりひとりのせんしゅが、がんばってメダルをとったのはすごいことだとおもいました。②

みんながいっしょうけんめいがんばってるのを見てすごいと思いました。がんばっているのは、ゆうしょうしたいと言う気持ちだと思いました。力をだきっているのは、全力でがんばっているいるしょうことだと思いました。③

オリンピックのせんしゅみたい、だれもが一発でせいこうできるわけじゃなくて、全力でれん習して、全力でど力すれば、金・銀・銅どれでも、しんの金メダリストになれている。③

わたしは、4年に1回しかないのにずっとこの1回のために練習しているのがすごいと思いました。メダルをとれた選手もとれなかった選手もすごいと思います。4年後もまた、日本の選手としてがんばってほしいです。④

「全力投球3S」。1つ目の学習では、算数のじゅぎょうをがんばりたいです。2つ目の運動では、マラソン大会をがんばりたいです。3つ目の発表では、学習発表会をがんばりたいです。③

話を聞いて、選手はがんばっているんだなあと思いました。計41個のメダルでビックリしました。練習をすればなんでもできることがわかりました。今度から、ぼくもがんばりたいです。⑤

ぼくは、なんでもあきらめずにやるのが大切だと思いました。高松ペアも16対19からの大ぎゃくてんなどすごいと思いました。ほかにも五輪のマークの作者のクーベルタンの「人生にとって大切なことは成功することではなく、努力すること」もそうだなあと思いました。④



私も、夏休み中、リオオリンピックを見ていたので、選手達が全力投球でがんばっていて、夢中になって見ました。私は、リレーカーニバルなどに出る時に、全力投球でがんばりたいです。⑤



ぼくは、オリンピックの体操の内村選手に感動しました。その理由は、途中まで別の選手に負けていたけど、最後のでつぼうで逆転したのに感動しました。ぼくはこれを見て、最後まで何があってもあきらめずにやりきることが大事だと思いました。⑥

内村選手の個人総合を見ていて、最後の鉄棒の演技でもう無理だろうと思っていましたが、大逆転で金メダルをとって、よく最後まであきらめなかったなと思います。最後まであきらめない大切さが分かりました。⑥

努力することや失敗から何かを学ぶことの大切さを知りました。目標に向かって最後まであきらめずに進むことを忘れず、何事にも全力で取り組めるようになります。五輪のマークの意味を初めて知りました。五輪マークの意味をいつまでも忘れないようにしたいです。⑥



第12回田村市小学校陸上競技大会に向けて！



9月14日(水)、田村市陸上競技場において、第12回田村市小学校陸上競技大会が開かれます。本校からは6年生全員と5年生2名が参加します。この大会に向けて、夏休みの暑い中も5・6年生で頑張ってきました。内池先生を中心に全職員で子どもたちを指導してきました。熱心な指導と子どもたちの意欲とで、充実した練習を積み重ねてきました。子どもたちは「**全力投球**」で頑張りますので、大会当日は多くの保護者の応援をよろしくお願いいたします。

大内：80mハードル・女子リレー①

- なるべく低く跳んで、15秒台で走る。
- ひじを曲げて、足の回転を速くして、1分6秒をきります。

橋本：1000m・混合リレー①

- 1000mでは、最初のペースのまま、4分くらいで走ります。
- 混合リレーは、一走なのでおもいきり走って次にしっかりつなげ、1分10秒をきります。



真壁：走り幅跳び・混合リレー

- しっかり踏み切って、3m50cmを跳びます。
- バトンパスをしっかり行い、1分10秒をきります。

遠藤：800m・混合リレー③

- 自分のペースを保って、最後まで走りきります。
- バトンをもらう時に、うでを地面と平行の高さになるようにあげる。1分10秒以内で走ります。

市川：100m・女子リレー③

- 足を上げて、16秒以内で走る。
- バトンパスを上手くつないで、1分6秒をきります。

榎本：ソフトボール投げ・女子リレー④

- フォームに気をつけて、40m以上とばします。
- バトンパスがうまくいくように手をしっかりあげて、1分6秒をきります。

市川：ソフトボール投げ・混合リレー④

- ひじを上げて、顔の横で投げられるようにして、40m投げます。
- 4走なので、ひざを上げて、1分10秒をきります。

梅原：100m・女子リレー

- 100mで、15秒を目安に本気で走りきります。
- リレーの時、うまくバトンを取り、1分6秒をきって走りきります。



佐久間：女子リレー(補欠)

- もし、補欠で走ることになったら、6年生をぬかせるように、しっかりがんばりたいです。一人でもぬかせるようにがんばってほしいです。しっかりおうえんします。



橋本：混合リレー(補欠)

- もし、補欠で走ることになったら、6年生を目標に、練習の成果をだせるように、ひじをのばさず走ります。また、しっかりおうえんします。

ちょっといい名句：「雨垂(あまだ)れ 石を穿(うが)つ」

★ ポタリ、ポタリと、軒先などから落ちる雨垂れも、長い間には下にある石に穴をあける、という事実から生まれた言葉で、小さな力でも、『根気よく、長い間努力を続ければ、遂には成功する』というたとえです。したがって、根気強く、ねばり強く、継続して、長い間、頑張る、といった要素が、この言葉には込められています。仮に才能や能力、体力などに恵まれていなくても、努力を続けることで、ある程度のレベルに達し、成果をあげているスポーツ選手はたくさんいます。志がしっかり定まっていれば、あとはこの言葉のように、コツコツ努力を積み重ねていくことです。ファイト！

